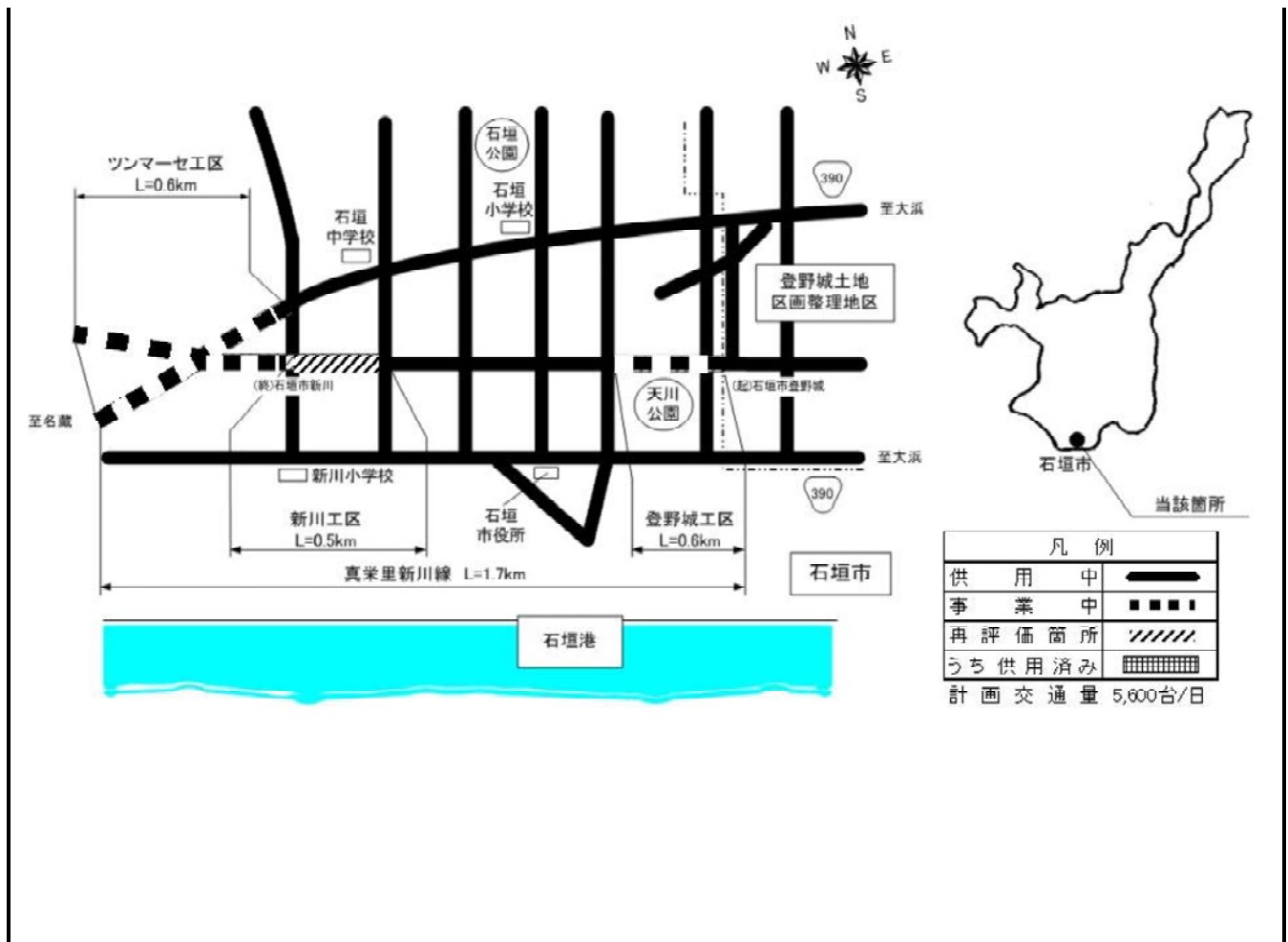


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局地方計画室

担当課長名：白金 義弘

事業名	真栄里新川線（新川工区）		事業区分	街路	事業主体	沖縄県	
起終点	自 沖縄県石垣市字新川作原 至 沖縄県石垣市字喜田盛				延長	0.508km	
事業概要	当路線は、石垣市の中心市街地を東西に横断する幹線街路である。沿線は商店街を形成しており、八重山地方の商業の中心となっている。しかし、当路線は歩道が狭小など交通安全上問題のある路線となっている。当路線を整備することにより、安全で快適な歩行者空間を形成するとともに、中心市街地における機能的な道路網の形成を図ることを目的に整備する延長508mの2車線道路である。						
H7年度事業化	H7年度都市計画決定 (H13, H15年度変更)		H8年度用地着手		H10年度工事着手		
全体事業費	約54億円		事業進捗率	70%	供用済延長	355m	
計画交通量	5,600台/日						
費用便益分析結果	B/C (事業全体)	1.1	総費用 (残事業)/ (事業全体)	30/59億円		総便益 (残事業)/ (事業全体)	62/62億円
	(残事業)	2.1	事業費	29/58億円		走行時間短縮便益	59/59億円
			維持管理費	1/1億円		走行費用減少便益	3/3億円
						交通事故減少便益	0/0億円
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生（中心市街地で行う事業である） ・国土地域（現道等における安全快適な歩行空間を確保する。） 						
関係する地方公共団体等の意見	当路線を整備することにより、安全で快適な歩行者空間を形成するとともに、中心市街地における機能的な道路網の形成を図り、市街地活性化の基盤として重要路線であるとして石垣市より早期整備に関する要請がある。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	八重山圏域への観光客数の増加に伴い、中心市街地の道路網を形成する本路線の交通需要も高まっている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	これまで（平成15年度末）に事業費ベースで95%の進捗で、用地取得率も94%まで達している。未買収用地は残り2筆で、その箇所の用地取得と街路工事が残事業となる。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部において用地補償交渉が難航したため、事業進捗の遅れとなった。未買収用地については、引き続き任意交渉を進め、地権者の理解を求めていく。						
施設の構造や工法の変更等	特になし。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	用地買収も残りわずかであることから、現計画の推進が効率的である。						
事業概要図							



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。